

# Academic Project

## 神大名物教授による人気講義

講義テーマ『西洋美術の読み方』

講師 宮下規久朗先生

### 概要

西洋では古来、美術が文化の中心にあった。それは単なる装飾や目の娯楽のためのものではなく、文字と同じように、キリスト教、異教、寓意や象徴といった意味を視覚イメージに込めて思想やメッセージを伝達するもっとも重要な手段であった。それを解読するのが美術史学という学問であり、西洋では美術史は人文科学の中心に位置するもっとも重要な学問であった。日本では、義務教育に美術史が存在せず、大学においても軽視されているため、美術は各自の勝手な感性で見ればよいと誤解されている。日本の芸術文化や現代美術のレベルが低いのはそのためである。

講義では、こうした西洋美術をどのように解読するかという問題を豊富な具体例によってわかりやすく伝える。

日時： 11月 14日（日） 13:20～ 14:20

場所： 神戸大学六甲台 本館 206教室

同教室にて、12:30～ 13:10はクラシックギター部による演奏会が行われます。是非御鑑賞下さい。